

第一種奨学金貸与月額変更願(届)(減額)

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構奨学資金の貸与月額を下記のとおり減額することを願ひ出ます。
つきましては、返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容から、貸与月額の減額に係る一切の債務に関して、
確認書並びに返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

太枠線内及び必要事項は正確に、もれなく記入し、押印のうえ学校に提出してください。

奨学生番号				学籍番号	提出日	西暦	年	月	日
6	1	0			生年月日	西暦	年	月	日 (満 歳)
大学(院)		学部	学科(科)	年次	フリガナ				
短期大学					課程				
学校		研究科	学年	(自署)					

入学年度
2 0 年

機構使用済 (変更始期)	年	月
2 0 1		

■ 月額変更 (裏面の「第一種奨学金変更可能月額一覧表」を参照して記入してください。)

本人現住所 (<input checked="" type="checkbox"/> 該当にチェック)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 自宅外	入居日	西暦	年	月	日	〒
家族住所(自宅)	世帯主氏名 ()						
変更内容 (<input checked="" type="checkbox"/> 該当するいずれかに チェック)	<input type="checkbox"/> a) 自宅外月額から自宅低月額※へ <input type="checkbox"/> b-1) 通学形態の変更を伴って 自宅外月額から自宅月額へ		入居月の翌月(月の初日の場合はその月)が減額始期(選択不可)				
希望する減額始期 (b-2～fのみ記入) *大学院生はf)にチェック	<input type="checkbox"/> b-2) 通学形態の変更を伴わずに 自宅外月額から自宅月額へ <input type="checkbox"/> c) 自宅月額から自宅低月額※へ <input type="checkbox"/> d) 自宅外月額から自宅外低月額※へ <input type="checkbox"/> e) 自宅月額から自宅外低月額※へ <input type="checkbox"/> f) 大学院生		本願(届)を学校へ提出した月の 属する年度の4月(当該年度採 用者で、貸与開始月が5月以降 の場合は貸与開始月)以降で、 本人が希望する月を記入 ※年度内精算が可能な範囲に 限る。				
※自宅低月額・自宅外低月額: ⇒10,000円もしくは30,000円(裏面参照) ※編入奨学金継続願・転学奨学金継続願に合わせて月額変更願を提出する場合の始期については、学校の担当者に確認してください。			減額始期: 2 0 1 年 月				
従前の奨学金月額	0 0 円		希望する奨学金月額		0 0 円		
変更する理由							

■ 本人が未成年者の場合のみ記入

上記の者が、現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

親権者 又は 後見人	住所 (親権者・後見人) 氏名 (自署)	(印)	電話番号 (昭和・平成) 生年月日	年	月	日
	住所 (親権者) 氏名 (自署)	(印)	電話番号 (昭和・平成) 生年月日	年	月	日

上記記載のとおり相違ないことを証明します。

(学校の証明) 年 月 日

● 学校記入欄(必須)

返還誓約書機構 提出 (<input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input type="checkbox"/> 済
--	----------------------------

※返還誓約書提出の上、「済」にチェックをしてご提出ください。

学校名
学校長
(関係部課長)

(職印)

学校番号	区分	電話番号(担当者名)
..... ()

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。
この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。
機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。
また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。